

私の学生生活を振り返って

～1 回生に伝えたいコト～

1.勉強のコト

同志社大学で学ぶこと、全て自分の為になる。

2.実習のコト

できれば皆さんに経験してもらいたい。

3.遊びのコト

学生の間だからこそできる遊び。

4.アルバイトのコト

大学では出会うコトのできない人たちとの出会い。
就職して、働くことの準備。

5.卒業論文のコト

福祉学科の先生にいっぱい助けを求めてください。
そしてたくさん悩んでください。
その時間は決して無駄ではありません。

6.1 回生の皆さんに伝えたいコト

たくさん学び

たくさん遊び

たくさん働き

そしてたくさん、気付いてください。

村居 芽久巳

おはようございます。我慢して聴いてください。私の学生生活を振り返ってみると、全くもって皆さんに胸を張れることはないかもしれませんが、一番目に勉強のことで言うと本当に私はあまり、いい学生ではなかったと思うので、ちゃんと全部の授業に出たよというのが、1、2回生の頃にはなかったと思います。1、2回生の頃の勉強って、わからないままの勉強が結構多かったので「自分のためになっているの、これって学んでいるの？」と感ずることがものすごく多かったですけど、私は実習に行った時に「あ、実は少しずつ自分の力になっていたんや」ということを、めちやくちや実感できました。

実習のことについて。私は児童養護施設に住み込みの実習にいったんですけど、その1カ月間が今まで生きてきた中でほんとに一番中身の濃い1カ月間やと思っていて、あの1カ月間ほど、いろんなことを考えて、いろんな行動をして、いっぱい気づこうと努力をしたことは人生の中で初めてでした。最近になって面と向かって「大嫌い」と言われたのも初めてでした。でも「大嫌い」が、全然、大嫌いだと思われてないんだと感ずることができたのも、勉強してきたからこそそのことで、本当に実習にはできれば行ってほしいなと思います。実際、私も将来福祉の仕事につくのではないんですけど、今の段階で、というだけの話で、本当に悩んだし、一般企業と福祉職とで。新卒でとりあえず企業に行こうと思って企業で頑張ってみようと思っただけなんです、今の段階では。もしかしたら辞めて福祉に行きたいと思うかもしれないし、その時はその時で、行動したい時は行動しようと思って、とりあえず今は企業で頑張ろうと思っています。福祉の仕事につかなかったにしても、実習は成長させてもらえたなということがあるので、ぜひ経験してもらいたいと思います。

遊びですが、皆、「遊びや」と言っていますが、遊んでほしいなということもあるし、旅行にしても長期間の旅行は社会人になったら行けないと思うので、行ける時に行けるところに、できれば意味のある旅行をしてほしいなと。私はあまりできなかったもので、今年こそは、と思って、いろいろ計画を練っているんですけど、できるならマチュピチュと屋久島に今年9月に行ってしまう、みたいな感ずて思っていて、30万円くらいかかるんです。すごくお金がかかるんですよ。学生だから学生旅行でローンが組める。そういうのもあるんです。学生だから。そういうことを探して行って、できれば意味のある旅をしてほしいなと思います。

アルバイトですか、チューターの週1回のアルバイト以外に3つバイトをしています。全部で4つしています。1週間は7日なのに、アルバイトが10回入っている週があります。1日2個やったりしているから。そこまでして働く必要はないのかも知れないんですが、私がどうしてそこまでして働くかという、大学では出会うことのできない人と出会えるからというのがあって、大学は同志社大学の人と出会うことが、ほとんどだと思えますが、アルバイトだったら違う大学の人、高校生、フリーターの人とか、社会人の人と出会うことがあって、そこから吸収することは半端じゃないと思います。私は全部接客業で働いているんですが、お客さんから吸収することもたくさんあるし、お客さんとの会話が好きだから全部、接客業で、飲食店、本屋さん、快活クラブというマンガ喫茶で働いています。お客さんのカラーが全部違うんですよ。そこで接している人たちとの出会いの中で、学べていることが多くあると思うので、アルバイトもたくさんいろんなことを経験してほしいなと思うし、アルバイトが、こ

これから先、社会人になった時の為に、働くことの準備期間になるんじゃないかなと私は思いました。

卒論のことを書いたんですが、多分、まだ先やし、と思われると思うし、私も思っていました。でも思っているよりもアツという間に4年間は過ぎていってしまうので、こんなに早く過ぎるとは、私は思っ
てなかったんですけど、びっくりするほど早かったです。この3年ちょい。今になって卒業論文、どう
しようとなっているので、その時は皆、言っているけど、福祉の先生は優しいので、助けを求めてほ
しいと思うし、実習のことでも何の相談でも聴いてくださるので、普通、あまりいないですから、こうい
う先生って。学校を休んでいる時、「あの子、なんで来ないんだろう、大丈夫かな」と心配する先生
って、大学であまりいないと思うんで、ほんとに福祉の先生は優しいと思いました。

悩むことは大事だと思うので、その時間は無駄にならないと思うので、ちょっとでも「なんで？」と思
ったことは、一人で悩むもいいし、誰かに共有してもらってもいいし、そういう時間の使い方は大切なこ
とではないかなと私は思います。

1回生の皆さんに伝えたいことは単純なことです、たくさん学んで、たくさん遊んで、たくさん働
いて、そして一番、ここが伝えたいんですが、たくさん気づいてほしいというところです。たとえば人
と出会うこと一つひとつにも意味があると思うし、今、自分の周りにいてくれる人、これから先出会っ
ていく人たちによって自分はずくられていくと思うので、出会いに対しても、何に対しても常に気づ
く努力をしてほしいなと思います。以上です。

